下大和田・小山町谷津田だより -2025 年 1 0 月 No. 284 号-

【活動報告】

<下大和田での活動> 写真:田中正彦

第308回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い 2025年 9月 7 (日) はれ 報告:田中正彦

昨年は台風 10 号の影響で、9月1日実施予定を1週間遅らせて観察会を実施しました。今年も台風 15 号が9月5日に千葉県を通過しました。二百十日や二百二十日が台風の上陸しやすい「農家の厄日」と言われてきましたが、昔の人は自然との距離が近かったと感じます。そんなことを思いながら、初秋の花やトンボを探しながら谷津と森を散策しました。

米づくりができなかった谷津田はヨシやガマで覆われていましたが、開けた水面には今年生まれた小さなメダカが群れ、上空をギンヤンマやシオカラトンボが盛んに舞っていました。シオカラトンボがオオカマキリに

捕食されている光景を目にしました。事前に仕掛けておいたウシガエル用の 罠を引き上げると、4 尾のアメリカザリガニが入っていました。平沼さんが ガマの地下茎を掘り上げて、皆さんに見せてくれました。

森の中では同じ枝に止まっているアオバハゴロモやベッコウハゴロモの成虫と幼虫をじっくり観察しました。10 尾ほどのヤマトアシナガバチが葉に群れていましたが、巣作りではないでしょうか。アキノノゲシやフジカンゾウの花が盛りで、暑いながらも秋が感じられた観察会になりました。

参加者16名(大人11名、大学生4名、小学生1名)



森と水辺の手入れ「畑の整備と復田田んぼの防鳥ネット張」

2025年9月21(日)晴れ時々曇り

少しは涼しくなったかに思われましたが、作業をすると汗が噴き出てきました。 下大和田の小さな畑で、収穫期を終えたミニトマトを片づけました。次に植える 作物のために雑草を抜いて耕し、苦土石灰や有機化成肥料をまきました。傍らで は、ワタが実をつけ始め、ヒャクニチソウやラベンダーが花を咲かせています。 ヒャクニチソウの花とレモングラスをお土産にいただきました。

復田した田んぼでは、緑米と赤米が実り始めていました。昨年は実った米がスズメの餌になってしまい、収穫できませんでしたので、今年はスズメに奪われないために、防鳥ネットを張りました。足場の悪い中での作業はなかなか大変です

報告:高橋久美子

が、今年は下大和田産のお米でもちつきができそうです。その後、森の中を皆で歩き、散策路をどのように造るか相談しました。サンショウやニガキの実がなり、クロモジやハナイカダを確認しました。キクラゲも出ていたので、皆で収穫しました。森の豊かな恵みを感じます。**参加者10名** (大人9名、小学生1名)

<小山町での活動>

小山町・小学校田んぼの活動

.

☆9月期 小山町の活動 報告:赤シャツ親父

今期は稲の実りも順調な様子。9月に入ると、学校田んぼはじめ、コシヒカリの穂は金色に染まり頭垂れる姿を見るようになりました。9月1日より個人田のコシヒカリの稲刈りを開始しました。リンドウ広場には沢山のおだが立ち並び、時折、ガーコン(足ふみ脱穀機)の音が秋空の下、鳴り響く季節となりました。

☆令和7年度期 小学校田んぼの稲刈り 報告:たんぽぽ

大椎小学校 9月 8日(月) 残暑の厳しい晴天の下でしたが、子どもたちは元気いっぱい!ボランティアの保護者の方々も頼もしい活躍でした。今期は田植えの面積を縮小した上、カモの被害もあり心配されましたが、稲たちは立派に実り上々な収穫だった様です。脱穀が楽しみです。

あすみ小 9月30日(火) 気温も少し下がり秋らしい心地よい朝でした。あすみっ子田んぼの稲の実りもとても良く、金色の穂が重そうにお辞儀していました。大勢の子どもたちは泥だらけになりながらも元気に歓声をあげ、稲刈りを楽しんでいました。たくさんの保護者ボランティアさんにも参加頂き、広い田んぼもすっかりきれいに刈り取られました。こちらも脱穀が楽しみです。

☆睡蓮田んぼ「古代米の稲刈り」9月13日(土) 報告:赤シャツ親父

【谷津田·季節のたより】 2025 年 9月

<下大和田町> 報告 平沼勝男

- 9/7 ギンヤンマ♂がお米つくりをしなくなった田の上を縄張りにして飛んでいました。シオカラトンボも元気です。 水路の葉の上にハグロトンボが止まり、翅を開いて閉じてを繰り返します。近くにはタカサブロウの花が咲いていました。夏の終わりを感じさせます。台地の上の開けた場所にアキノノゲシが咲き、アキノエノコログサがこうべを垂れていました。まだ暑いですが秋を感じさせてくれます。
- 9/14 チョウセンカマキリがハスの葉の上にとまっていました。最近見る機会が減っているアカガエルが水路に飛び込みました。田にトチカガミの花が咲いていました。カントウョメナの花が可憐です。復田した田には緑米が一斉に出穂していました。今年はお餅つきがしたいと思いました。これから大事に育てます。近くの水路に設置したウシガエルの罠に大きめのギンブナと、小型のギンブナが入っていました。逃がしてあげました。
- 9/21 水面にオモダカの花が咲いていました。畦を歩くとキタテハが足もとで翅を広げていました。美しい赤とんぼが目の前に止まりました。マユタテアカネのオスです。この時期一番美しい赤に発色します。すっかり元気を失った、以前はカブトムシが集まったクヌギの木に白い大きな美しいキノコが付いていました。あとで、キヌオオフクロタケというとても珍しいキノコでした。

<小 山 町>

(小学校田んぼ) 報告 赤:赤シャツ親父、た:たんぽぽ

9/1 おおほたるコシヒカリ稲刈り開始(た) 9/6 子ギツネ?の様な姿、路を横切り山へ消える(た・赤) 9/10 ムラサキノマイの花咲く(た) 9/21 小山彼岸花咲く(た) 9/27 イボクサの花、可憐に咲く(た)。無数の黒蟻の羽アリ、飛行しさながらアリ柱を成す(赤)

(小山全般) 報告 碇:碇夕子、波:波多野めぐみ、高:高山

9/1 イソヒョドリのメスが電線に止まっていた。小山で初認、キンミズヒキが開花(高) 9/2 スギの木のてっぺんに 止まるサシバをカラスがモビング、ヤマドリが刈田で摂餌、ヤマガラがエゴノキをしきりに訪れて実を採る(高) 9/8 オスメス連結したギンヤンマが刈田で産卵(高) 9/11 キジの家族が刈田で餌探し、オオアオイトトンボの 姿が目出すようになる(高) 9/15 ヒガンバナの花芽が突然現れる→9/17 に開花(高) 9/21 刈ったイネにハス モンヨトウの幼虫をよく見かける、鮮やかな緑色のさなぎがイネについていた(碇)刈田でダイサギが餌採りに熱 中していて近づいても逃げない(波)久しぶりにセグロセキレイのペアを見る、ノシメトンボが連結して田んぼで 産卵(高) 9/28 刈田にアカネの仲間(ノシメトンボ、ナツアカネなど)のトンボの姿が増える、刈田で地味な エクリプス羽のコガモの小群が羽根を休める、ミゾソバが多数開花(高)

【イベントのお知らせ】主催:NPO法人 ちば環境情報センター

<下大和田谷津田> 連絡先:小西 TEL. 090-7941-7655 , E-mail : yatsudasukisuki@gmail.com

・森と水辺の手入れ

日 時: 2025年10月19日(日) 9時45分~12時 雨天中止

内容: 昨年から米づくりのできなかったマイ田んぼ復活のための整備と復田した田んぼの手入れを行います。

持ち物:長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、飲み物、午後まで活動する方は弁当、敷物 **参加費**:無料

· 第311 回下大和田 YPP「古代米の稲刈り」

日 時: 2025年10月25日(土) 9時45分~12時

内 容:5月17日に田うえをした緑米と赤米を収穫します。久々の YPP です。

持ち物:長靴、長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、飲み物など 参加費:無料

・森の手入れ

日 時: 2025年10月26日(日) 9時45分~12時 雨天中止

内 容:森の木の伐採や畑の整備を行います。

持ち物:長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、飲み物、午後まで活動する方は弁当、敷物 参加費:無料

・第310回 観察会とゴミ拾い

日 時: 2025 年 **1 1 月 2 日** (日) **9 時 45 分~ 1 2 時** 雨天決行

内容: 秋本番。木の実・葉の色付きを観察しながら秋たけなわの森と谷津を巡ります。

持ち物:筆記用具、飲み物、長靴、帽子、ゴミ袋、敷物 参加費:100円

<小山町谷津田>

睡蓮田んぼ「古代米の脱穀作業」

日 時: 2025年10月 5日(日) 10時00分~ ☆小雨決行

場 所:りんどう広場

※ 学校田んぼと睡蓮田んぼに関しては赤シャツ親父 (tomizo_i@nifty.com)、その他のお問い合わせは高山 (ceic.ypp.oyama@gmail.com) までお気軽にメールでご連絡下さい。